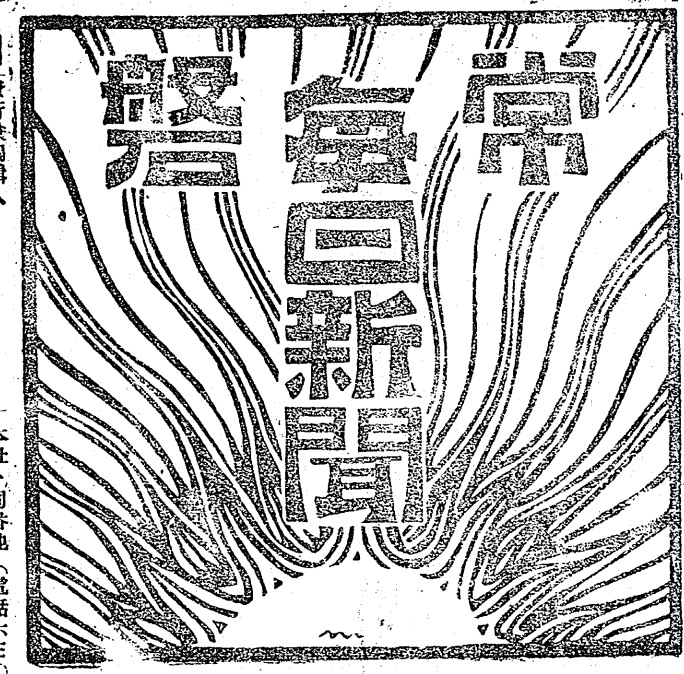


電話開通披露

番 號	氏 名
八六一	米雜陶 穀貨器 平町五丁目 丹野市太郎商店 大内屋號
八五六	旅宿館 喜久多屋 平町南町十九
八五八	内外商 好川屋商店 平 驛 前角
八六〇	玩具類 森下商店 平町二丁目
八六二	早川材木店 古鍛冶町七
八六三	古制鐵商 武藤治郎三郎 平町搔槌小路廿九
八六五	料理 忠 平町田町一〇 山口ヨシノ
八六六	青物 高木屋支店 平町五丁目
八六七	萬年筆 蓄音器 高倉天地堂 平町三丁目
八六八	末廣酒店 平町南町五八
八六九	質替 多田井笑次郎 平町大工町
八七〇	萩原申八 平町田町五
九〇一	荒川銀治 平町長橋町七〇
九〇二三四	トマル柴田書店 平町四丁目
九〇六	大谷屋酒店 平町搔槌小路二八
九〇八	雜穀商 田卷隆二商店 平町紺屋町一三
九一一	桑原整骨院 平町新町公園下



定部金貳錢 廣五號十二行 休日暇大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 電話六三〇番

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番） 印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日五廿月一十

七五二五七 祝春

御花嫁御祝着特賣
金解禁と新安値
全商品の宣傳價
 十二月一日ヨリ
 人形七五三宮詣り陳列（廿五日ヨリ）

三井吳服店

和久井屋 電話三五番

時計 常盤屋 電三三九

指輪

外 科 一般外科 泌尿科 婦人科

醫學士 海津俊一 院 長 新妻由五郎

×光線科 木下寅一

平町電四七五

愛病院

各種 體温計 寒暖計 電四〇番

和久井屋 電話三五番

三ツ方 桐 廿七圓
 總用 管 九圓
 總用 鏡 七圓
 總用 尺 七圓
 針箱 七圓
 針箱 五圓
 火鉢 五圓
 火鉢 五圓
 食卓 八圓
 食卓 八圓
 花林 十五圓
 其他種々 十五圓

若松野崎兩派の勢力争ひ深刻化

石城民派の分裂は到底免れぬ状態に陥る

石城民政黨部會の縣參事争奪戦は本舞臺を福島に移し野崎、若松兩派が最後の決死戦を行ひ其の結果決選投票に依つて若松美三氏が縣參の椅子を遂に捷り得る事になり長老會に於て推薦され

優勢な位置にあつた野崎派は敗戦の憂き目を見る事になつた、此の縣參問題は之で一先づケリはつた譯であるが民政黨部會の策士として勢力を持つ野崎満藏氏が縣參の椅子を若松氏に奪はれた儘泣き寝入りをするかそれとも

長老會の推薦を楯に同志を叫合し葬合戦の抗争を開始するか否か、興味

の中心となり各方面から頗る注目されてゐる、野崎氏が反野崎派即ち若松派の策動に依つて敗戦を見た事を默認するとは見られず何等かの方策に依つて對立的抗争を開始するものと見られ其の結果は石城民政黨部會の二分分裂を招來するものとも

豫測さるる此の縣參問題では五長老も既に調停の資格なく部會唯一のピカ一的存在である比佐代議士も最初から逃避的態度を取つてゐたのでこれ亦兩者間を斡旋する事は出来ない

解決を 見ねばならぬ

等であり結局兩者の争ひは兩派の力に依つてなくならぬ若松氏と一敗地にまみれて敗戦の苦痛を満喫した野崎氏とが今後如何なる戦術に依つて争ひを續けるか頗る興味ある問題であり現在の状態では石城民政黨の二分分裂は免れ難い有様である

平町の

白米が値下

廿四日から

平町米穀商組合は廿四日各穀類の價格を左の如く協定した(但し一キロ當り)
種類 廿四日前 同日後
上白米、二四〇、二三五
中白米、二四五、二三〇
並白米、二四五、二七〇
田糶白、二四五、二七〇
陸糶白、二九〇、二二〇
搗麥、二一〇、二二〇
平麥、二一〇、二二〇

野菜が高値

氣狂ひ天氣で

晴れとも降るともつかぬ氣狂ひ陽氣のために畑作物は大減收を來し大根などは丸いので一本十錢長いので二十錢以上白菜なども結球してゐるのは一貫目四十錢以上で俗稱ヘラ菜の如きでも平年十錢から八錢位なのが

元兇小泉の共犯は

高田警察署長と偽造團一味續々逮捕

既報國債偽造團の主謀株相馬部松ヶ枝村生れ元本縣巡査小泉浩は本縣警察部から鯉淵警部補が上京警視廳の應援をうけて東京府下大森町に潜伏中を逮捕されたが同人の自白によつて元本縣警部にして高田署長をつとめた西村平太郎(五)も共に逮捕され二十三日午後九時三十分平署で平署に護送されて直に嚴重なる取調をうけてゐるが右犯人の自白によつて全國に散在する偽

繪畫展覽會

昨日まで警城訓盲院に於て開催された石城美友會並に警城中學校×會の聯合繪畫展覽會に於ける×會の入賞

一貫目二十五錢を以て取引されてゐる程である

三村消防檢閲

石城郡三坂永戸玉川各村の消防檢閲は左の期日に各村小學校に於て行はる、由
廿六日三坂村、廿七日澤渡村、永戸村、廿九日玉川村

數百圓を前に

賭博を開帳

石城郡内郷村高坂警城炭礦坑夫長屋居住従業員大塚正雄(〇)方に二十三日午後十時頃坑夫二十四名集合數百圓の金を前にして花合賭博開帳中平署員に踏込まれ數名捕縛されたが多勢の爲め戸を押破つて逃走する等一時大騒ぎを演じたるも本日に至り連累者全部檢査され目下平署にて取調中である

御叮嚀にも

二度轢かる

自轉車と

二十三日午後五時半ころ石城郡四倉町字新町生方選(〇)は自轉車に乗り草野村地内を疾走中誤つて同村大字



腫物にはこん蒔

腫物はお醫者に切つて貰ふのが安全だと思ひますが、出來た場所によつては傷痕が残るから氣がついたらば

泉崎西山順之助(六)を轢き倒し足部に負傷せしめたが折柄後方より同村自轉車業鈴木達次郎方運轉手吾妻利左衛門(九)が運轉して來た自轉車のために順之助は又も轢かれ身体數ヶ所を負傷したので直に附近の醫師にかつぎ込み應急手あてを加へ生命は取り止めた

自轉車が

田甫人墜落

機械に故障

石城郡湯本町字三國七八自轉車營業者鈴木稻實方運轉手伊勢次郎(三)は二十二日午後三時半頃湯本町より平町方面に向つて自轉車運轉中内郷村御厩字久世原先國道に差掛つた際前方より來れる馬車を避けんとしたが突然機械に故障を生じハンドルの自由を失つて右方の田の中へ自轉車諸共墜落したが幸に乗客に死傷がなかつた

少年の盗み

時計が欲しくて

平町鎌田町六佐藤一郎(九)假名は廿日午後一時頃鎌田早速早いうちに蒔蒔を二三枚買つて代る／＼湯で茹で腫物の處を温める事です二三日長くとまかると口があくものはあき、散る物は散つて了ひます、大ていなものは一日で口があいても痕が残らず治ります。

◇虫歯の痛み止めに竹皮虫歯の痛むのは竹の皮の焼

八日午前十時四十五分朝鮮羅南野砲兵廿五聯隊へ老人が

大金を遺失

平からの歸途

石城郡内郷村白水字廣畑農五十嵐林次郎(〇)は昨日平町に來り買物の歸途午後二時頃平綴間にて袋入りの現金百六十圓を落し平署に届け出たが未だ拾得者は出ない

兩村一等農産

此程開催された石城郡上遠野村入遠野村並兩村男女青年團の聯合農産物品評會に於て一等入賞者左の如し

町山崎住方へ侵入家人の不在を奇貨として佛壇にあつた腕巻時計一ヶ價格十五圓を窃取したが平署員に取押へられ目下取調中

犬を撲殺して其肉を喰ふ

平署に告發

石城郡内郷村綴靴修繕業松島定吉(三)は二十二日午前七時ころ近所の菅野某の飼犬を撲殺して喰つたことが判明菅野から告發され二十三日平署の取調を受く

平町人事

▲出生

△五丁目二平松茂氏長女和子
△仲町一六小松崎子之吉氏三男和

▲死亡

△久保町三三青木竹次郎(四七)

明日の天氣

北西の風 朝時雨模様のち候 復

募集

文藝其他投稿を募集します

いた灰を御飯粒に混ぜてよく練つたのを厚い紙に伸ばして熨の上から貼つておきますとずる分ひどい痛みも止ります
◇水虫には白べんきを足の指に出来る水虫はなかなかなほらないで困るものですが白べんきを少し宛塗つて置くとなほります

丸昌ホール開設

平町南町洋食店丸昌軒は今回大ホールを新築し一般の洋式宴會の求めに應ずるものであるが同ホールには公共の爲めに講演會協議會相談會陳列會等に開放するといふから公會堂を持たぬ平町の爲めには頗る便宜の多い事であらう

眼鏡

トキハヤ 平一

眼 鏡

トキハヤ 平一